

平成24年度 事務事業評価シート

事業の概要	事務事業名	母子保健指導事業						担当部	健康福祉部							
	会計区分	一般会計			事業類型	一般		担当課	保健センター							
	事業期間	平成12年度以前			～	平成30年度以降			担当係	母子保健係						
	総合計画 分野別計画	主目的	3 保健福祉		10 健康づくり			3 親子が共に育み合うことができるように支援する								
		副目的														
	予算区分	款	4		項	1		目	4		大	3		中	4	
	根拠法令・個別計画	母子保健法														
	実施・運営方法 ※費用合計に占める 経費の内訳(割合)	直接実施・ 運営	100 %			委託	0 %			助成	0 %					
	目的 (対象をどの様な 状態にするのか)	子どもが健やかに成長できるよう、親が子どもの成長発達について理解し、不安なく楽しく子育てができるようにする。														
	内容 (手段)	<p>○23年度実施内容</p> <p>乳幼児健診時の健康教育にて子どもの体と心の成長、むし歯予防の話を実施。 幼稚園・保育園・学校等と連携し親や子を対象に健康教育を実施。 育児相談を全児童館で実施。 支援が必要な家庭や親子を対象に、保健師、助産師等が家庭訪問や面接、相談を実施。 子の発達や育児に関して支援が必要な親子を対象に事後教室(なかよし・おひさま教室)を実施。 母子保健推進協議会において、母子保健に関する問題点や必要な支援等を検討し、実現に向けて推進していく。 保健師が関係機関(子育て支援課や児童相談所等)と連携し、継続的に親子を中心とした家族支援を実施。 【直接経費の内訳】 傭人料等(1,476千円) 講師等謝礼(3,643千円) 消耗品費・印刷製本費等(1,490千円)</p> <p>○24年度実績内容</p> <p>23年度と同様に実施。</p>														
受益者負担	無															

		単位	H21決算額	H22決算額	H23決算額	H24予算額		
コスト	費用	直接経費	千円	6,904	6,652	6,609	8,237	
		正職員	従事者数	人	2.80	2.74	2.80	2.80
			人件費	千円	14,893	14,574	14,893	14,893
		その他職員	従事者数	人	0.00	1.50	1.50	1.50
			人件費	千円	0	3,699	3,510	3,510
		費用合計	千円	21,797	24,925	25,012	26,640	
	対前年比	%			114.3	100.3	106.5	
財源	一般財源	千円	21,342	24,155	24,095	25,740		
	国・県支出金	千円	455	770	917	900		
	その他財源	千円	0	0	0	0		

業	活動指標名	単位		H21	H22	H23	H24
	1歳6か月児虫歯予防教育回数	回	目標		36	48	48
実績				48	48	48	
家庭訪問数	数	目標		—	—	—	—
		実績		398	618	591	
		目標					
		実績					
績	成果指標名	単位		H21	H22	H23	H24
	3歳児健診時う歯のない人の割合	%	目標		85	85	85
実績				83	85	87	
家庭訪問数	数	目標		400	400	600	600
		実績		398	618	591	

事業の自己評価	事業の達成状況	活動目標である虫歯予防教育は、目標どおり実施することができた。家庭訪問数についても、591件実施した。成果指標である3歳児健診のう歯のない人の割合も87%と目標の85%と目標の87%を達成することができた。
	事業実施における課題等	健康教育の内容の充実をしていく。家庭訪問等の継続的支援において、支援を必要としている方を適切に把握し、適切な支援に結び付けてつけていけるよう、アセスメント項目等を専門職間で統一していく。
	事業を縮小・廃止したときの影響	家庭訪問や保健指導などは、公的な機関以外どこも実施しておらず、もし事業を縮小・廃止した場合、実施する主体がなくなり、市民がサービスを受けることができなくなる。
今後の事業の方向性	方向性の判定	現状維持
	判定理由	事業を目標どおり達成することができ、育児支援について、一定の成果を挙げており、引き続き事業を実施することにより継続的に効果を発揮するため。
	改善案等	今後も健康教育等の内容を充実し、質の高い支援を実施していく。家庭訪問等の継続的支援において、支援を必要としている方を適切に把握し、適切な支援に結び付けてつけていけるよう、アセスメント項目等を専門職間で統一していく。

二次評価	方向性の判定	判定理由
	現状維持	一次評価のとおり。